

「平成21年度宮城県内の主要事業計画(国土交通省)」

資料10

団体名：国土交通省(東北地方整備局・東北運輸局)

団体名	NO	事業名	事業主体	平成21年度事業概要		目標	該当施策番号	関連HP
				取組の目標、概要、目標とする指標等の概要	事業費(千円)	数値目標又は定性的目標		
東北地方整備局	1	石巻港雲雀野地区多目的国際ターミナル整備事業	東北地方整備局	(延長 2,630m) 防波堤(南)本体工、消波工等	1,450,000	平成28年度供用予定	5	東北地方整備局
	2	仙台塩釜港(仙台港地区)中野地区複合一貫輸送ターミナル改良(耐震)事業	東北地方整備局	岸壁(-9m)改良工、泊地浚渫工等	2,550,000	平成26年度供用予定	5	〃
	3	仙台塩釜港区外港地区航路(-7.5m)	東北地方整備局	外港航路(-7.5m)浚渫	450,000	平成23年度完了予定	5	〃
	4	仙台空港耐震化整備事業	東北地方整備局	地盤改良工等	567,000	平成30年度完成予定	5	〃
	5	常磐自動車道(新地~山元)	東日本高速道路(株)	(延長 16km) 用地買収、一部工事推進	2,000,000	平成26年度全線供用予定	5	〃
	6	常磐自動車道(山元~亘理)	東日本高速道路(株)	(延長 12km) 舗装工事、施設整備推進	5,000,000	平成21年度全線供用予定	5	〃
	7	一般国道6号 仙台東部道路(仙台港IC(仮称))	東北地方整備局	(仙台港IC(仮称)) 改良、橋梁工事推進	1,400,000	平成20年代供用予定	5	〃
	8	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 登米志津川道路	東北地方整備局	(延長 16.1km) 用地買収、改良、橋梁、舗装工事推進	3,500,000	平成21年度一部(5.0km)供用予定	5	〃
	9	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 南三陸道路	東北地方整備局	(延長 7.2km) 調査設計推進	100,000	平成20年度新規事業着手	5	〃
	10	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 本吉気仙沼道路	東北地方整備局	(延長 7.1km) 用地買収、改良工事推進	1,900,000	平成20年代供用予定	5	〃
	11	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 唐桑道路	東北地方整備局	(延長 3.0km) 改良、トンネル工事推進	1,500,000	平成22年度全線供用予定	5	〃
	12	一般国道47号 仙台北部道路	東北地方整備局	(延長 13.5km) 改良、橋梁工事推進	2,000,000	平成20年代供用予定 (H14年度5.2km供用済)	5	〃
	13	一般国道4号 富谷大和拡幅	東北地方整備局	(延長 13.3km) 舗装、橋梁工事推進	430,000	平成22年度全線4車供用予定 (H19年度迄12.0km供用済)	5	〃
東北運輸局	14	地域公共交通活性化・再生総合事業	認定を受けた法定協議会	地域の多様なニーズに応えるために、鉄道、コミュニティバス・乗合タクシー、旅客船等の多様な事業に取り組む地域に対し、パッケージで一括支援することにより、地域の創意工夫ある自主的な取り組みを促進する。	4,400,000	—	2	東北運輸局 平成20年度~
	15	「ビジット ジャパンキャンペーン」外国における旅行博への出展等事業	東北運輸局 宮城県 山形県 青森県 岩手県 東北観光推進機構 北東北三県観光立県推進協議会(青森県・秋田県・岩手県) 栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会(栃木県・福島県・宮城県・山形県)	・台湾観光プロモーション事業 東北プロモーション 台湾の2大都市台北・高雄において、観光セミナー及び商談会を開催し、旅行エージェントに対し旅行商品造成を働きかけるとともに現地メディアに対し特集記事を掲載を働きかける。 ・国際旅行博覧会(ITF2009)出展に伴う情報発信 ブースを出展し一般消費者に東北の観光魅力をPRするとともに、東北プロモーションで造成されたツアー商品のPRと販売を行い、販売促進を図る。 ・中国観光プロモーション事業 中国・広州国際旅游展示会(GITF)出展に伴う情報発信 広東省は東北への年間を通じた送客実績を有していることから、ブースを出展し東北の観光魅力を一般消費者や旅行エージェントに情報発信を行い、一般消費者の旅行意欲を喚起すると伴い、旅行エージェントに対し新たな旅行商品の造成を働きかける。併せて、旅行エージェントと連携を図り、旅行商品のPRを行い販売促進を図る。	6,000 4,292 1,200	現地来場者 旅行会社：90社 航空会社：9社 メディア：20社 情報発信 現地パンフ等配布 10,000枚 商談会・観光セミナー 現地参加10社 情報発信 現地パンフ等配布 3,000枚	2	東北運輸局

団体名: 国土交通省(東北地方整備局・東北運輸局)

団体名	NO	事業名	事業主体	平成21年度事業概要		目標	該当施策番号	関連HP
				取組の目標、概要、目標とする指標等の概要	事業費(千円)	数値目標又は定性的目標		
東北運輸局	15 (続き)	「ビジット ジャパンキャンペーン」 外国における旅行博への出展等事業	東北運輸局 宮城県 山形県 青森県 岩手県 東北観光推進機構 北東北三県観光立県推進協議会(青森県・秋田県・岩手県) 栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会(栃木県・福島県・宮城県・山形県)	・香港観光プロモーション事業 国際旅游交易会(ITE2009)出店に伴う情報発信ブース出展により東北の観光を一般消費者へPRを行うとともに、旅行エージェントやメディアに対し、観光セミナーや商談会を実施し旅行商品の造成と特集記事の掲載を働きかける。	5,000	情報発信 現地パンフ等配布 10,000枚 商談会・観光セミナー 現地参加60社	2	東北運輸局
	・東北合同セールスプロモーション 東北の観光関係者が参加し、観光セミナー・商談会を開催する。東北の観光ルートや最新の情報を提供し、旅行商品の造成を働きかけ、誘客促進を図る。			6,000				
	・タイ・シンガポール観光プロモーション事業 タイ・旅行博覧会(TTAA)出展に伴う情報発信及び広告宣伝 東北の春から夏にかけての観光資源をブース出展で一般消費者にPRを行い旅行意欲を喚起する。併せて、新聞雑誌への広告を掲載し相乗効果を図る。 ・シンガポール・旅行博覧会(NATAS)出展に伴う情報発信及び広告宣伝 東北の四季の自然景観をブース出展で一般消費者にPRを行い、併せて、地元新聞に東北PRと旅行商品を広告を掲載し、販売促進を図る。			3,933	ブース来場者 7,800人			
東北運輸局	16	「ビジット ジャパンキャンペーン」 外国旅行会社・マスコミの招請事業	東北運輸局 宮城県 山形県 青森県 岩手県 仙台市 東北観光推進機構 栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会(栃木県・福島県・宮城県・山形県)	・YOKOSO! JAPAN東北事業 東北6県と新潟県の7県が連携し、東北が一体となって招請・インバウンドセミナー・商談会を実施し、旅行商品の造成及び東北への外客増加の効果을上げてきた。過去6年の事業を検証し、他地域にはない東北の魅力ある観光資源・観光ルートをPRするなど、内容の充実を図り更なる誘客促進を図る。 東北視察ツアーの実施、商談会・交流懇親会のメイン会場は仙台市。それぞれのコースごとに途中1箇所地域商談会を実施する。	29,650	招請予定AGT:50社 目標送客数 17,700名	2	"
				・台湾旅行エージェント等招請 冬の素材が豊富な福島県と東北随一の都市・仙台市の観光資源の視察・取材と商談会の開催するとともに、台湾でのテレビを利用した南東北の冬の旅番組を制作し、現地で放映。また雑誌取材を同行させるとともに、TV連動旅行商品を造成、販売させる。また番組の一部をDVD化し、観光プロモーションとして使用する。 ・タイ・旅行エージェント等招請 タイ・シンガポールは東北地方への訪問客数が増加していることから、更なる誘客を促進するため桜・雪景色を中心とした四季の自然景観を中心にプロモーションを展開する。併せて、増加が著しいタイの旅行エージェントを招請し旅行商品の造成を働きかけ、誘客促進を図る。	1,900	目標送客数 600人 媒体接触者数 50,000人		
東北運輸局	17	「ビジット ジャパンキャンペーン」 外国においての観光テレビ放送等宣伝事業	東北運輸局 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 東北観光推進機構 東日本旅客鉄道(株) 伊達な広域観光圏	・東北広域観光テレビ宣伝(香港・中国広州) 香港・広州をターゲットとしたテレビ宣伝事業を20年度に続き実施する。実施にあたっては、現地のテレビ局を招請し、東北に存在する観光施設等の中から現地のニーズにあった施設等のロケを行うとともに、テーマ別に区分し放送することにより現地での更なる知名度向上と誘客促進に資する宣伝事業を実施する。 ・FITを意識したメディア招請事業 東北への入込客が増加しているFITを意識した観光地の魅力を紹介し、知名度向上と更なる誘客を図る。	10,000	目標視聴者数 600万人 香港はもちろんのこと、放映エリアである広州においても日本東北の観光に関するテレビ放映を行うことにより、東北の更なる知名度向上と誘客促進を図る。	2	"
				①韓国メディアを招請して鉄道を利用した観光ルートPR 平成21年7月～9月に実施する「岩手プロモーション」と連動し、岩手県と仙台市の観光素材を中心に鉄道を利用した観光ルートをFIT旅行者向けに情報発信する。 ②台湾メディア招請 伊達な広域観光圏内の観光素材を中心に鉄道を利用した観光ルートをFIT旅行者向けに情報発信する。 ③香港メディア招請 平成21年12月～平成22年3月にJR東日本が実施する重点プロモーションと連動し、青森県と仙台市の観光素材を中心に鉄道を利用した観光ルートをFIT旅行者向けに情報発信する。 ④韓国・メディア招請 韓国人旅行者の訪日動機として高い温泉・ショッピングテーマとして資源が豊富な福島県と東北随一の都市・仙台市の魅力を情報発信する。	8,840	媒体接触者数:160,000人 媒体接触者数:320,000人 媒体接触者数:260,000人 媒体接触者数:4,355,000人		

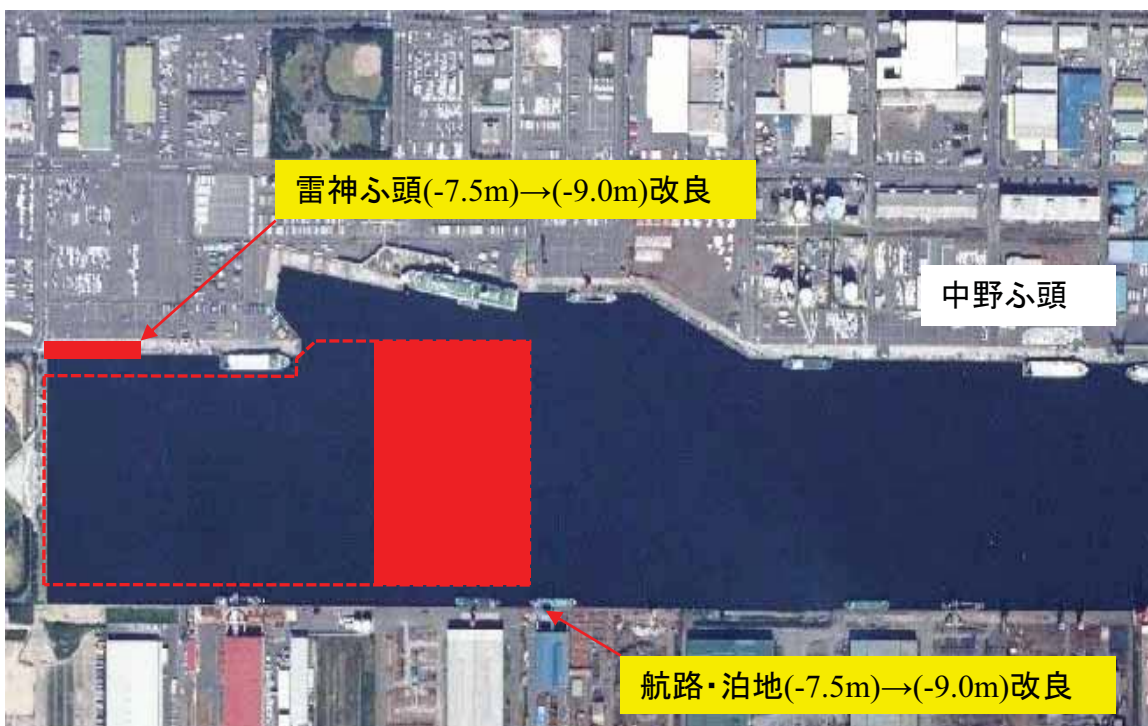
団体名: 国土交通省(東北地方整備局・東北運輸局)

団体名	NO	事業名	事業主体	平成21年度事業概要		目標	該当施策番号	関連HP
				取組の目標, 概要, 目標とする指標等の概要	事業費(千円)			
東北運輸局	18	観光圏整備事業	東北運輸局 東北地方整備局 伊達な広域観光 推進協議会 構成市町村: 仙台市、気仙沼市、登米市、大崎市、松島町、利府町、南三陸町、一関市、奥州市、平泉町	地域の幅広い関係者が連携した地域の活性化の取組みを総合的かつ一体的に国が支援することにより、国際競争力の高い魅力的な観光圏の形成を促進する。	29,050	滞在促進に重点的に取り組む地区を整備することにより、2泊3日以上滞在型観光を目指す。 数値目標 平成20年から24年の5年間で500万人増やす	2	〃
	19	東北国際物流戦略チームの運営	東北地方整備局 東北運輸局 東経連	東北港湾・空港の利用促進による効率的な国際物流の実現とそれに伴う東北の活性化 〈継続取組み〉 ・荷主データベースの構築 ・転換(成功)事例集の作成 ・出前説明会の開催 〈新規取組み〉 ・45ft国際海上コンテナの国内輸送に向けた取組み ・農水産品輸出の現状及び物流課題の検討 ・物流コスト削減に貢献できる東北域内倉庫の検討			2	〃

～複合一貫輸送ターミナルの利便性向上と 地域経済活性化への支援～

●中野地区複合一貫輸送ターミナル改良事業

近年仙台港における貨物取扱量が増えており、船舶の大型化が進む中、雷神ふ頭岸壁（-7.5m）では水深不足から一部の船舶が、中野ふ頭岸壁を利用している状況の中で、利便性向上と地域経済活性化への支援を図るため、埠頭利用の再編による貨物量の集約化、船舶の大型化に対応するため、平成20年11月港湾計画改訂を受け、複合一貫輸送ターミナル改良事業の先駆けとして、雷神ふ頭岸壁（-9.0m）改良、航路・泊地（-9.0m）改良を行います。



水深不足のため、中野3号岸壁を利用している

自動車運搬船が雷神ふ頭利用可能に



船名：清和丸
総トン数：15,781GT
全長：167m
全幅：30.2m
吃水：7.5m
船種：CGC
積載能力：自動車 846台 トレーラ 150台



船名：蓉翔丸
総トン数：14,790GT
全長：167m
全幅：30.2m
吃水：7.5m
船種：CGC
積載能力：自動車 929台 トレーラ 93台

仙台塩釜港（塩釜港区）の事業計画

仙台塩釜港

～老朽化し港湾施設の機能の回復・強化～

塩釜港区への航路(計画水深-9m)は、現状では水深6.2mの箇所もある状態である。

利用者（保安部・港湾利用者・港湾管理者・塩釜市）からは航路浚渫の要望が強いことから、機能回復を図る必要があるため、外港地区航路(-7.5m)の浚渫実施します。



石巻港の事業計画

～安全かつ効率的な荷役を行うための港内静穏度の確保～



●雲雀野地区において、港内静穏度確保のための防波堤（南）の整備を促進します。

平成21年度4函据付(約80m延伸)し、秋には延長1,820mに！

(石巻港の課題) 長周期波による雲雀野地区の静穏度不足

●防波堤の整備が不十分だと

長周期波による荷役障害の発生が懸念されます。



●防波堤を延伸する事により

港内静穏度が確保され、安全で確実な荷役が可能



仙台空港の事業計画

● B滑走路・誘導路改良整備事業

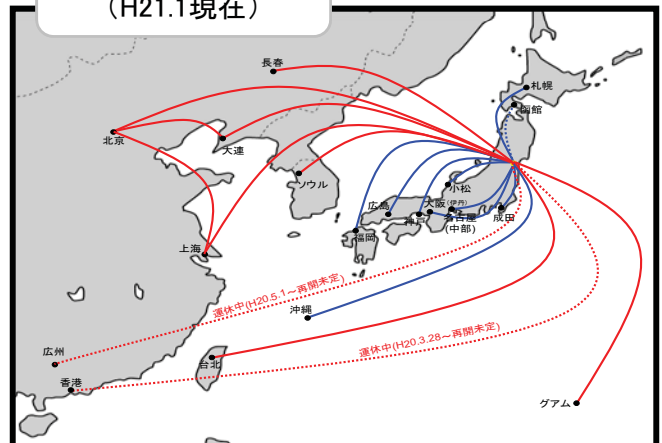
宮城県沖地震及び長町利府断層帯地震への対応として、緊急輸送の拠点となる空港、及び航空輸送上重要な空港として求められる空港機能を確保すべく、被災時においても通常運用と同様な施設を供用可能な状態とすべく、老朽化した、B滑走路及び誘導路の地盤改良を引き続き行います。



耐震整備工法
(地盤改良工法)



定期便就航路線図
(H21.1現在)



平成21年度 宮城県内の主要事業（国土交通省【道路関係】）

